

医師の日常業務について

皆さまに当院の医師についてより一層のご理解をいただくため、各医師の日常業務をシリーズで紹介してまいります。

西島 陽子 先生（内科）の一週間

多くの方がご存じと思いますが、当院は「人工透析を行っている施設」です。その人工透析の担当医となっています。当院の人工透析は日曜日を除く毎日行っていますので、透析センターのスタッフと協力し、（火曜日を除く）毎日、透析患者さんの診療を行っています。

月曜日の午前は一般の、木・金曜日の午後は専門（予約のみ）の、外来診療を行っています。専門は腎臓内科で、腎炎、腎症、体液電解質異常、慢性腎臓病の治療を行っています。腎臓は、悪くなって症状が現れるのは最後の最後、「沈黙の臓器」です。悪くなる前に発見して治療するには、検診が重要です。「たんぱく尿がおりている」、「GFRが低い（腎臓の働きが悪い）」、「体がむくんでいる」、「たくさん薬を飲んでも血圧が下がらない」等に当てはまる方は月曜日の午前中（8:15～11:00）にご来院いただければと思います。もちろん、入院患者さんの診療も行っています。ガイドラインやエビデンスを念頭に、患者さん個々に合わせた選択肢を提案し、治療にあたっています。

水曜日の午前中は救急オンコールの当番も行っています。困っている方がいなければ救急車からの連絡もないので、それが一番良いことと思っはいますが、連絡があれば、専門外であっても積極的に受入れるようにしています。



高橋 基城 先生（整形外科）の一週間

出勤したらまずは電子カルテを開きます。入院中の患者さんが貧血になっていないか、肝臓や腎臓に異常を来していないか等をチェックするための血液検査を朝の早い時間にしていますので、その結果を確認し必要に応じて対応します。また、夜間に入院患者さんの異変はなかったかを夜勤の看護師から報告を受け、手術部位の処置等を行います。

火曜日、水曜日の午前、木曜日、金曜日の午後は手術に入ります。全身麻酔の手術では麻酔科医師に麻酔をかけてもらい、患者さんの体位設置等をしてから手洗いをして手術開始となります。当院では全身麻酔時に神経ブロックを併用することが多く、術後の痛みを最小限に抑えています。

私は主に人工股関節・膝関節手術、骨折手術を担当しています。人工関節手術では、長期間にわたり安心して使用出来ることを重視して手術方法や使用機器を使い分けています。加えて、高齢者の骨折に対する手術も数多く行っています。高齢者は心臓や腎臓に合併症を持っていることが多く、より身体に負担が少なく、かつ、確実な手術を行うよう留意しています。

また、入院中の患者さんの多くがリハビリテーションを行っていますので、回診時にその状況を確認し、療法士・看護師・社会福祉士等のスタッフを含めたチーム医療で対応しています。

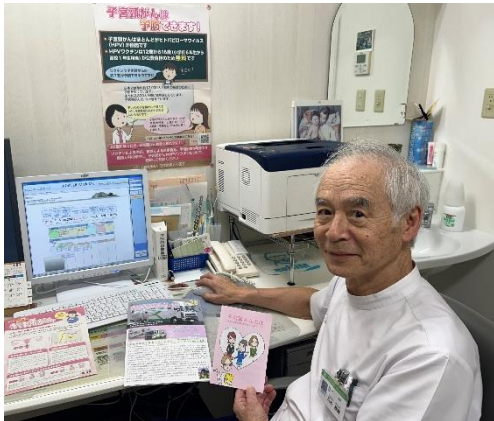
月曜日、水曜日の午後、金曜日の午前は外来診療を行っています。怪我などの急性疾患から、加齢に伴う関節痛や骨粗鬆症などの慢性疾患まで、年齢を問わず幅広く対応していますので、気になる方はぜひ一度受診してみてください。

（予約外患者さんや救急患者さんの対応も同時に行っているため、時に混雑して診療待ち時間が長くなってしまうことがあります。申し訳ありませんがご理解ください。）



川本 雅教 先生（産婦人科）の一週間

午前は月曜日から金曜日の毎日、午後は水・木曜日、外来診療を行っています。
診療の内容ですが、更年期以後の身体のほてり、冷え、イライラ感、不眠などの症状に対し女性ホルモンや漢方薬その他を使用した治療を積極的に行っています。子宮や膀胱・直腸が下がってくるといった下垂・脱に対してもクスリ、器具あるいは手術といった方法で症状を軽くしたり治したりしています。また、尿漏れ・頻尿などの症状、腰や背中痛みなど更年期以降の女性に急増する骨粗鬆症に対して検査・治療も行っています。



お産に関しては、残念ながら分娩は取り扱っていませんが、順調な妊娠経過の方は妊娠 5 ヶ月まで当科にて妊婦健診を行っています。その後については、ご希望の病院、クリニックに紹介をさせていただきます。なお、妊婦健診は完全予約制ですので、ご希望の方は平日の 14 時から 16 時 30 分までの間に、必ず事前にご連絡ください。

また、若い世代の方に対しましては、子宮頸がん検診の大切さと HPV ワクチン接種についての啓もうに取り組んでいます。子宮頸がんは、最も予防しやすいがんであり、がん予防の知識が大切となる病気です。地域住民の皆さまにも何卒ご理解とご協力をお願いしたいと思っています。

河内 雅章 先生（脳神経外科）の一週間

月曜から金曜日まで午前中は毎日外来診療を行います。診療の中心となるのは脳卒中、頭部外傷、頭痛、認知症などです。脳神経外科疾患と関連する高血圧、高脂血症、糖尿病なども併せて診療しています。外来診療の多くは予約制で、一人一人の患者さんのお話をできるだけお聞きし丁寧に診察することを心がけています。午後にも外来診療が入ることがあり、患者さんのご都合に応じて適宜予約を受け付けています。

火曜日と金曜日の午後は脳ドック利用者の方の診断を行っています。脳ドックでは症状を呈していない脳卒中や脳腫瘍、未治療の生活習慣病が見つかることがあります。病状の増悪を未然に防ぎ、適切な治療を受けていただけるように指導を行います。必要に応じて、当科へ通院いただいたり、他科へご紹介したりする事もあります。院内連携や他院との協力体制が活かされています。また、産業医として企業の方の健康診断の指導を行うこともあります。

午後の多くの時間はNST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム) の責任者として業務を行っています。入院患者さんの病状、栄養摂取量、リハビリテーションの内容などから適切な栄養の提供がなされているかを栄養科の管理栄養士の皆さんと協働し確認しています。水曜日の午後にはNSTのチームメンバーが集まり、院内ラウンドを行います。NSTに関しては臨床実地修練研修施設となっており、院外より研修生の受け入れも行っています。また、午後にSST (Swallowing Support Team: 摂食嚥下サポートチーム) として言語聴覚士さんと摂食嚥下機能の検査を行うことがあります。院内のチームのとりくみを通じて、入院患者さんの飲むこと食べることや栄養に関することのお手伝いをしています。これらの業務と並行して、脳神経外科救急患者さんの救急車受け入れや、救急オンコール急患の対応、入院患者さんの診察などを行っています。

